

未来の津市へつなぐ

～都市の未来、こどもの未来、地域の未来～

2月22日、令和5年第1回津市議会定例会の開催に当たり、前葉泰幸市長が施政方針を述べました。今号では、その主な内容を掲載します。なお、施政方針の全文については、津市ホームページでご覧いただけます。

津市 施政方針



未来に向けて変化する社会に対応し、よりこどもを産み育てやすい津市へ

平成31年4月に市民の皆さまの3期目の市政運営への負託を受けてから、はや4年が過ぎようとしています。折しも「平成」が終わり「令和」が始まるという新しい時代の幕開けと時を同じくして始まったこの4年間。ワクチン接種の促進をはじめとする**新型コロナウイルス感染症対策**に大半を費やし、人的資源を最大限活用して市民や事業者を守るための施策を継ぎ目なく積み重ね、加えてロシアによるウクライナ侵略や円安などを要因とする**物価高騰**に対しても即応しながら、その一方で**都市づくり**を進めてきた4年間でした。



施政方針を述べる前葉泰幸市長

対コロナにおいては、保育所や幼稚園、小中学校等での臨時休業措置等による家計への負担の軽減を図る特別支援金をはじめ、医療機関の感染症対策経費に対する支援などを進めてまいりました。**社会経済活動の回復が進みウィズコロナが新しい段階へと進展**していますが、今後も医療機関における感染者の受け入れ体制の保持は必要になるものと思われる

す。また、1月からは、特例貸付の償還も始まっていますが、長引くコロナ禍で償還が困難となっている市民や立ち直りが遅れている事業者への丁寧な対応が求められています。

物価高騰に対しては、**生活者支援**として、所得制限を設けることなく給付した**子育て家庭物価高騰対策支援金**をはじめ、家計負担を増やすことなく給食の質を維持するための支援などを行ってまいりました。国が行う**住民税非課税世帯等への価格高騰緊急支援給付金**などの支給にも速やかに取りかかるとともに、国の給付金の対象とならない住民税均等割のみ課税世帯等に対しては、**津市独自に生活応援給付金**を給付しました。

事業者支援は、エネルギー価格等の高騰の影響を受ける中小企業や小規模事業者、介護保険・障害者支援施設、農業者・畜産事業者、地域公共交通事業者などに対するきめ細かな施策を重ねてまいりました。

これからの津市の未来を築く。そのために目の前にある津市を取り巻く社会情勢の動きを見据え、引き続きコロナ対策を講じつつ、今後もしばらく続くことが見込まれる**物価高騰の影響を受ける市民生活と地域経済を守るための施策**に取り組み、その上で未来に向けて大きく変化しようとする社会に対応する政策を展開してまいります。

これまで進めてきた都市づくりは、さらに一歩踏み出し、**目指すべき都市の姿**の具現化に向けて取り組んでまいります。また、これからの未来を築き支えていくこどもを社会の真ん中に据え、より**こどもを産み育てやすい津市**にし、**地域脱炭素**や新たな**土地利用**、市民生活の未来を支える**DX(デジタル・トランスフォーメーション)**といった未来への課題にもしっかりと向き合ってまいります。